ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第４号
令和２年６月１１日
文責：校長　酒井康雄

教師、親がすべき、「3つの見る」

先月、家の近くの公園でリスの写真を撮りました。３匹の子どもたちが母親のリスの回りをつかず離れず遊んでいる様子でした。

子リスは、母親のリスの顔色を見て、遊びたい気持ちを伝えている様子でした。もしかしたら一緒に遊んであげたいと思ったかもしれません。でも、母親のリスは写真のように耳を立て、行く先を見定めていました。

この様子を見て、職員会議で先生方に話したことを思い出しました。それが、右の「３つの見る」です。

○　物事の本質（目的）を見る。
○　物事の全体（回り）を見る。
○　物事の先（将来）を見る。

リスの場合、今、この状態で大切なことは子どもの命を守ること、そして、周囲の状況を把握し、危険を回避するコースを選択し、安全な場所へ移動することだと思います。

子どもの思いに共感し、寄り添うことも大切ですが、お子さんの成長や置かれている状況によって、何を優先すべきか異なります。**優先すべきことを見極める上でも、その場に流されることなく、将来を見据えて子どもたちを導く必要**があるのではないかと思います。

特に、学校では、新型コロナウイルスの影響により、限られた授業日数の中で、今、何を優先し、取り組んでいかなくてはならないのか、全職員で考えています。また、子どもたちの現状をしっかり把握するとともに、新型コロナウイルス感染防止を最優先に行事等を検討しているところです。ご理解とご協力をお願いいたします。